


整理番号	HT26010	分野	生物	(キーワード)植物、遺伝子、形態形成
------	---------	----	----	--------------------

弘前大学

【花のかたちはどう決まる？ 遺伝子から迫る花のでき方】

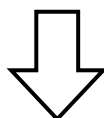
先生(代表者)	中川 繭(なかがわ まゆ) 男女共同参画推進室・特任助教			
自己紹介	植物のかたちがどうやって決まるのか、特に環境としての光に注目して研究しています。同じ植物が違う環境で育つと全然違うかたちになるのが不思議で、気がつけば植物のしなやかさとしたたかさに魅せられていました。植物の自分らしさを守りながら生きのびるための戦略を、遺伝子をキーに解き明かしたいと考えています。			
開催日時・主な募集対象	平成26年 8月2-3日(土-日)	(対象)	高校生	(人数) 24名
集合場所・時間	弘前大学遺伝子実験施設		(集合時間)	10:00
開催会場 (集合場所)	弘前大学遺伝子実験施設(文京町キャンパス) 住所:〒036-8561 青森県弘前市文京町3 アクセスマップ: http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/gene/about.html			
内 容				
遺伝子は生物の設計図です。花のかたちも葉っぱのかたちも遺伝子が決めます。だから、たった一つの遺伝子が無くなるだけでかたちが大きく変わってしまうこともあります。遺伝子が壊れてかたちがおかしくなった花を観察して、壊れた遺伝子が何をしていたのかを考えてみましょう。さらに、一見まともに見える植物からDNAを取り出して、壊れた遺伝子を隠し持っている個体を見つけます。				
スケジュール			持 ち 物	
1日目			筆記用具	
10:00~10:30	受付(弘前大学遺伝子実験施設)			
10:30~11:00	オリエンテーション (挨拶、プログラムの説明、研究者・大学院生の紹介)		特 記 事 項 2日間通してのプログラムです。1日だけの参加はできません。	
11:00~12:15	実験実習「色々な花の観察・花式図の作成」			
12:15~13:15	昼食			
13:15~14:30	植物からのDNA抽出			
14:30~15:00	ティーブレーク(大学院生の研究紹介、科研費の説明)			
15:00~15:30	グループディスカッション 「観察結果を基に花器官の決定モデルを考える」			
15:30~15:45	グループディスカッションの結果発表			
15:45~16:30	講義「花のかたちと遺伝子の関係」(答合わせ)			
16:30	終了			
2日目				
10:00~10:15	受付(弘前大学遺伝子実験施設)			
10:15~11:15	実験実習「DNAの電気泳動」			
11:15~11:45	講義「遺伝子変異の分子遺伝学的な検出方法について」			
11:45~12:00	実験実習「DNAの染色と写真撮影」			
12:00~13:00	昼食			
13:00~13:30	実験実習「遺伝子型の確認」			
13:30~14:00	まとめ			
14:00~14:30	修了式(アンケート記入、未来博士号の授与)			
14:30	終了・解散			

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	弘前大学 男女共同参画推進室・中川 繭
住所：	〒036-8560 弘前市文京町1
TEL 番号：	0172-39-3888
FAX 番号：	0172-39-3889
E-mail：	equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
申込締切日：	平成26年 7月18日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
中川 繭	H22-25	若手研究(B)	22770062	高等植物の光シグナルによる個体サイズ制御機構の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。